



血管の メカノバイオロジー： 血流センシングと脳動 脈瘤形成の分子機構



●山本 希美子

東京大学大学院医学系研究科 講師

本研究では血管細胞が血流や血圧に起因する力学的刺激を感知し、その情報を細胞内部に伝達することで細胞応答を起こすメカノトランスダクション機構を解明します。さらに、メカノセンシングを介して起こる細胞機能の変化が血流因子の関与する血管病である脳動脈瘤の発生・進展に果たす役割を明らかにするとともに、臨床例を対象に計算流体力学解析を行うことで脳動脈瘤の破裂予測やコイル塞栓術後の再発予測に使える診断ツールの開発を目指します。